

ローマ 1:1-13

1 節

“神の福音のために選び分けられ、使徒として召されたキリスト・イエスのしもべパウロ、
ローマ人への手紙 1章1節

Q1 福音って何？

“兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ
伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。
また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福
音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。
私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次の
ことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、
また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、
また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです。
その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中の大多数の者は今
なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。”

コリント人への手紙 第一 15章1～6節

2 節

“—この福音は、神がその預言者たちを通して、聖書において前から約束されたもので、
ローマ人への手紙 1章2節

Q2 聖書の約束って何？

“しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。
彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。
私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しか
し、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。”

イザヤ書 53章5～6節

3 節

“御子に関することです。御子は、肉によればダビデの子孫として生まれ、”
ローマ人への手紙 1章3節

Q3 御子とは？

“この御子のうちにあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。
御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。
なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見える
もの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたので
す。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。
御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。”

また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めであり、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、ご自身がすべてのことにおいて、第一のものとなられたのです。

なぜなら、神はみこころによって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ、その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、御子のために和解させてくださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。”

コロサイ人への手紙 1章 14～20 節

Q4 ダビデの子孫って何？

“アブラハムの子孫、ダビデの子孫、イエス・キリストの系図。”

マタイの福音書 1章 1 節

“エッサイにダビデ王が生まれた。ダビデに、ウリヤの妻によってソロモンが生まれ、”

マタイの福音書 1章 6 節

“ヤコブにマリヤの夫ヨセフが生まれた。キリストと呼ばれるイエスはこのマリヤからお生まれになった。”

マタイの福音書 1章 16 節

“そこで、子たちはみな血と肉とを持っているので、主もまた同じように、これらのものをお持ちになりました。これは、その死によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人々を解放してくださるためでした。”

ヘブル人への手紙 2章 14～15 節

4 節

“聖い御霊によれば、死者の中からの復活により、大能によって公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。”

ローマ人への手紙 1章 4 節

Q5 復活の意味は？

“しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。というのは、死がひとりの人を通して来たように、死者の復活もひとりの人を通して来たからです。

すなわち、アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるからです。”

コリント人への手紙 第一 15章 20～22 節

“キリストの支配は、すべての敵をその足の下に置くまで、と定められているからです。最後の敵である死も滅ぼされます。”

コリント人への手紙 第一 15章 25～26 節

“「死よ。おまえの勝利はどこにあるのか。死よ。おまえのとげはどこにあるのか。」死のとげは罪であり、罪の力は律法です。

しかし、神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。”

コリント人への手紙 第一 15章 55～57節

7節

“ローマにいるすべての、神に愛されている人々、召された聖徒たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたの上にありますように。”

ローマ人への手紙 1章 7節

Q6 召された聖徒たちとは？

“神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

それは、神がその愛する方であって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

この方であって私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。”

エペソ人への手紙 1章 5～7節

11節

“私があなたがたに会いたいと切に望むのは、御霊の賜物をいくらかでもあなたがたに分けて、あなたがたを強くしたいからです。”

ローマ人への手紙 1章 11節

Q7 御霊の賜物を分けるとは？

“それですから、私はあなたに注意したいのです。私の按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせてください。

神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。”

テモテへの手紙 第二 1章 6～7節

ヌンの子ヨシュアは、知恵の霊に満たされていた。モーセが彼の上に、かつて、その手を置いたからである。イスラエル人は彼に聞き従い、主がモーセに命じられたとおりに行った。

申命記 34章 9節

13節

“兄弟たち。ぜひ知っておいていただきたい。私はあなたがたの中でも、ほかの国の人々の中で得たと同じように、いくらかの実を得ようと思って、何度もあなたがたのところに行こうとしたのですが、今なお妨げられているのです。”

ローマ人への手紙 1章 13節

Q8 実って何？

“あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。

あなたがたが互いに愛し合うこと、これが、わたしのあなたがたに与える戒めです。”

ヨハネの福音書 15章 16～17節

“それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。”

マタイの福音書 28章 19～20節

Q9 信仰の従順って何？

“このキリストによって、私たちは恵みと使徒の務めを受けました。それは、御名のためにあらゆる国の人々の中に信仰の従順をもたらすためです。”

ローマ人への手紙 1章 5節